

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会
2003年度第2回常任幹事会議事録

●日時
2003年7月26日(土) 15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校 521号室

●出席者
秋元圭一 [会長]
土橋洋一 [常任幹事]
西田一成 [常任幹事]
日野 高 [副会長]
渡部征明 [常任幹事]
浜村圭一 [常任幹事]
小山 弘 [常任幹事]
中島かおる [常任幹事]
角谷祥子 [常任幹事]
大村政幸 [幹事]

●委任欠席
浅見 博(→西田氏)
菊池 満
甲斐光省(→秋元氏)
松岡和彦(→秋元氏)
川島昭作(→西田氏)
岸 明美(→西田氏)
藤原成理(→秋元氏)

常任幹事出席者9名・委任欠席者7名
定足数成立

●議事進行
議長・進行/小山 弘
●書記/矢野 亨・小山優子

●議題
議題1/
事務局・各委員会の活動報告

議題2/
総会+パーティーについて

議題3/
会則検討について

議題4/
次回日程

議題1/事務局・各委員会の活動報告

●在校生支援委員会の報告

担当の渡部氏から「本年度は何回かの講演会の開催を予定しているが、小宮山先生より講師に浅葉氏を紹介してもらい、9月に詳細な打合せを予定している。総会以降の方が、人数が集まると思われるので、総会で案内をして11月か12月頃に実施したい。会場は学校を予定している」との報告があった。また、これとは別に今年の学園祭では同窓生から講師として来てくれた方の作品展示を行うことや、同窓生や学生が一堂に集まれるスペースを用意する予定があるとの説明もあった。

議題2/総会+パーティーについて

●開催場所と日程および進行の検討

担当の浜村氏から「会場は前々回の打合せの際に、他に良い場所があればとの話があったが、特に紹介がなかったので、全国大学生生活協同組合連合会のホールで進めます」との報告があった。さらに日程変更の件で秋元氏から「前回の常任幹事会では、30日の日曜日を予定していたが、土曜日が良いという意見もあり、29日に変更可能か問い合わせをしたが埋まっていたため、22日に確保してもらった。23日には学校の行事があるために、学校関係者の参加が難しいとの話もあるが、月曜日までの連休なので、遠方から来る人も参加しやすいと判断して、22日の土曜日に決定したい」と述べた。「(渡部)杉並文化会館が改修工事のため、杉並近辺での会場確保が困難となっている、ここが確保できればそれで良いのではないかな」などの意見後、浜村氏から会場の状況や予定として「ビデオ上映等の設備・可動式のステージ・照明・音響も大変充実しており、食事が出来る場所もある。準備は当日の午前中からと考えている」などが説明され、この日程と場所で進行することとなった。さらに、西田氏から「総会については常任幹事会で決めていけば良いが、パーティーなどは原案を常任幹事会で承認しながら、細かい作業は秋元氏を責任者とした別のプロジェクト(実行部隊)を組織して進めたほうが良い」との提案があった。これを受けて秋元氏は「浜村氏をリーダーに役割分担を決めてもらい、すべての情報は私か小山氏に一度集めてから、各担当者に流れるようにしたい」と述べた。

●パーティー内容の検討

浜村氏から「限られた時間の中で総会を行い、同窓生の交流や情報交換もある。前回のビンゴ大会は、ある人には楽しいがまったく楽しめない人もいたのが反省。みんなが参加したという意識が重要で、テーマを決めて行かなければいけないと思う。今考えているのは、刺激が与えられる場にしていきたい。たとえば、活躍している同窓生の紹介など」「(渡部)展示の形式を決めて、年度ごとに活躍した人をパネルや映像で紹介しては?」「(西田)卒業後、学校に来ている人も少ないので、校内が変わった様子を映像で紹介するのはどうか?また、前々回は数名の先生に功労賞的なものを進呈したが、今回は小竹さんに対して同窓会としての気持ちを表したい。八重樫先生も推薦したいが、学校側と相談して人選してもらいたい。それと、先生を招待する事を検討しては?」「(秋元)費用面などは後にするが、連絡の取れる先生には来ていただけるようにしたい」などが話し合われた。

●会費の金額の検討

秋元氏は「6月に会則の件で集まった際(メンバー:秋元・甲斐・松岡・小山・藤原)の話し合いで、一人5000円程度と考えたが若い世代には高い。出来るだけ多くの人に来てもらうためにも、3000円か、出来れば2000円位と考えている。会費を300名から集めると仮定しても、5000円を2000円にしてオーバーする予算は90万円。90万円の出費であれば可能と考えている」と述べた。これに対し「(渡部)賛成です」「(西田)2000円では、なにも出ない印象をもたれるのでは」「(浜村)安かろう悪かろうと思われるのは心配。多くの人に参加してもらうために同窓会費から費用を捻出していることをDMなどで告知する必要がある」「(角谷)8000円でも100人以上の立食パーティーだと期待できない。食べ物、端から期待してないので安い方が参加しやすい」「(西田)看板やイベント等で割れる部分を検討する」などプロジェクトで予算を検討しながら、会費は安めに設定する方向に至った。秋元氏は「予算をオーバーする部分は常任幹事会の承認を受ける」と確認して、最後に西田氏から学校の寄付をいただけるように交渉してほしいとの要望で締めくくった。

●パーティー内容についての討論とプロジェクトメンバー選出の検討

再びパーティーの内容やそれ以降の展望など、自由な話し合いになった。「(渡部)同窓生の為のイベント(講演会など)の情報を、ポスターを作成して会場で案内したい」「(浜村)情報として持ち帰ってもらうなら、チラシの方が良いのでは?」「(秋元)抽選会を行うなら、寄付などで懸賞品を集めたりしなければならない。また、同窓生同士の作家とメーカーに勤める社員をリンクさせて、作品出力と会社の製品をデモンストレーションするという方法もある」「(角谷)顔と名前が一致しないことも多いので、自己紹介的なものを含めたネームプレートも欲しい。それが、違う世代と話すきっかけになれば」「(渡部)自分でネームプレートに色々書き込むスペースを作るのはどうか」「(浜村)これから同窓生となる学生からのメッセージ映像を流すなどの演出や、参加した同窓生同士のビジネスチャンスとなるような雰囲気作りをしたい」「(渡部)人材データベースのようなものを作る機会にしたいし、事後にネットで紹介することも考えられる」「(浜村)卒業生の作品を同窓会でオークションをやったら面白いので

はないか。売上げに応じて同窓会に寄付等も考えられる」「(秋元)学校側からの情報で、西荻にスペースを用意して阿佐美の同窓生の作品や商品売をすることを予定している。場所は決まっています、学園祭の後くらいにオープン予定(10月末頃)なので、それと連動させた企画も考えられる」「(土橋)朝の会・あの会等に参加した人が活性化できる場になれば」「(秋元)絵画科の同窓生の作品を見てもらう良い機会」「(西田)その場合、運送や保管責任の所在や、保険等を事前に明確にするようにしなければならない。作品をコピーしたファイルやデータの展示という手段もある」などの意見が出された後、秋元氏から「浜村氏と話を詰めて人選を行い、メール等でお願いすることになる」と述べた。西田氏からは「常任幹事会で人選を承認しなければならぬので、次回の常任幹事会までに調整する必要がある」との意見が出され、秋元氏は「次回の常任幹事会では遅いので、事前に人選を行い事後承認の形にしたい」と締めくくった。

議題3/会則変更について

●会則変更検討会の立ち上げとその承認

秋元氏から「6月に甲斐氏、松岡氏、小山氏、藤原氏、私の5名で会則変更についての打合せを行った。ここで、総会で会則変更の議題をあげる場合に、改定は総会時に会員の3/4の賛成で改定できるようになっているが、これをもう少し柔軟にして総会を開かなくても会則変更が出来るようにしたいという話になった。今回は総会までに会則全体を細かく見直して承認を得るのではなく、この部分のみの変更承認を得てから、詳細な変更については会則変更検討会(仮称)を作って決めていきたい。会則変更検討会が出来た場合、甲斐氏がリーダーとなっていただくことは了承してもらっている」と述べ、これについての検討に入った。「(日野)それは、総会までの間だけ検討する会ということか?」「(秋元)違います。将来的に継続されて検討します」「(西田)見直しは必要であると思うが、まず、現状の会則に乗っ取って行う必要がある」「(秋元)当然、今回の承認は現状の会則の範囲で行う」「(日野)総会時に会員の3/4の承認を得るためには、事前に委任状が必要では?」「(秋元)会員総数の3/4といっても連絡がつかない人も多い。そのような状況の中でももう少し現実的に実数を把握できる範囲で検討したい」「(西田)以前は回答がない場合は承認とみなしていた。回答が得られない人や連絡がつかない人を、数に数えないと会員として認めないようにも受け止められるので、そういった人は賛成としてみなしても良いのではないか」「(日野)会則変更検討会ではその様な例を含め、検討できればよい」「(土橋)そもそも総会で3/4という数字を決めるのが違うのではないか。常任幹事会で3/4というなら通用するが、現状の幹事会や総会の出席率を見ても、現実的な運営を行わないとがんじがらめになってしまう」「(秋元)継続的に1年に1度くらいは見直していけるようにして、必要な変更を行えるようにしておかないと、現状の会則では何年も先送りになってしまう」「(西田)会則を使用する際に、使いにくい部分を改定することは必要だと思いますが、誰が運営しても最低限、会員のみなさんが納得できるようにしていく必要がある。運営者に都合がよいだけの改定にしないよう注意したい」「(土橋)会則そのものは最低限の項目だけあればよく、曖昧な部分はそのつど役員や会長が判断していけばよい。総会では、一般の参加者は詳細な検討はせずに決議していると思う」「(角谷)総会では全員に挙手を求める必要はないのではないか。各年度の幹事が責任をもって承認を行えばよい。また、選出された幹事が納得出来ない場合、その人たちが新たに立候補が出来るようにしてはどうか?」「(秋元)立候補については明確なルールも会則もないが、勝手に選出してしまおうと一部の人達だけで幹事を選ぶことになる恐れもある。しかし、将来的に最低限の明確なルール作りが必要と考えている。また、自主的に幹事になりたい人が参加できるようにとの意見もある」などの討論のあと、議長の小山氏が「会則変更検討会を立ち上げ、甲斐氏をリーダーにして進めることで良いか」と挙手をもとめ、全員が賛成して承認された。

議題1/事務局からの報告

担当の小山氏から「先ほど事務局を学校に置く覚書を校長と交わした。本日より事務局は学校となります。場所は1階の職員室の反対側で、移転後の活動内容は予定表の通りに進めます」と述べ、補足説明として秋元氏から「学校側の好意で場所のレンタル代、FAX、ネットワーク等の費用は発生しません。また、学校の流れに配慮すればコピー機等も使わせてもらえます。今後は学校の助手会の方々から事務員をおくことなど、学校側と検討して進めていきます」さらに小山氏より「半年間くらいを準備期間として、私と小山優子でマニュアルの作成や環境整備を行っていますので宜しくお願いします」との報告があった。その後「(西田)覚書の文面に関してですが、同窓会の本部を置くのであって、事務局をおく訳ではないと思います。あと、プロジェクト等を柔軟に運営できるように対応してください」「(土橋)部屋の入口にでも「阿佐美同窓会」のプレートをつけてもらいたい。学校への動機付けにもなる」「(日野)学生へのアピールにもなる」などの意見や要望が出された。

議題4/次回日程

次回、9月27日(土)15:00~の幹事会日時の確認をして議会は閉会した。

●議事録

書記/矢野 亨・小山優子

校正・制作・文責/秋元圭一・小山 弘